



明るく 豊かに たくましく

鵜川高校だより

学校 HP <http://www.mukawa.hokkaido-c.ed.jp/>

令和 7 年 4 月 号
(R7.4.26 発行)
北海道鵜川高等学校
TEL/FAX 0145-42-2085

物事の本質を見抜く直感力を鍛えるために

校長 志 鎌 正 人

日頃から本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠に感謝申し上げます。

始業式の校長講話では、生徒たちに次のような話をいたしました。

多くの人は、「勉強」は人生の一部にすぎないと考えています。しかし私は、「勉強すること」を通して、自分の人生の意味や道を見つけて欲しいと願っています。実際に、世の中で活躍している人たちは、何らかの「学び」や「出会い」に影響を受けています。

その「学び」は、教科書の中だけにあるとは限りません。人との出会い、本との出会い、地域社会との関わり、自然とのふれあいなど、身近なものから多くのことを学ぶことができます。それに気付くかどうかという直観（直感ではない）は、自分の心の持ちようです。

教育の本質とは、教員と子どもたちの人格的なふれあいの中にあります。単なる知識や技能の伝達にとどまらず、子どもたちの人格を育て、その成長を支える営みです。この営みには、教員だけでなく、保護者の皆様や地域の方々の関わりも欠かせません。皆様の関わりが子どもたちに大きな影響を与えることを、私たちは常に意識しています。

授業において、私たち教員が大切にしたいのは次の3つです。

1 動機づけ（「必要だからやる」と思えること）

→ 例：悪い例は「ここ、テストに出るからね」と言うだけで終わる指導です。

2 楽しさ（「楽しいからやってみよう」と感じる）

→ 例：悪い例は、時間を気にしてすぐに答えを教えてしまうことです。

3 心理的安全性（「安心して取り組める」と思える環境）

→ 例：悪い例は、「こんなこともできないのか」と否定する言葉です。

「むかわ学」をはじめとする探究的な学びでは、生徒が自ら課題を見つけ、情報を集め、整理・分析し、周囲と意見を交わしながら協力して課題解決に取り組む姿勢を大切にしています。これは「総合的な探究の時間」に限った話ではなく、すべての教科で可能な学び方です。教育のもう一つの重要な役割は、子どもたちが自分自身の認知の限界を意識しながら、思考の工夫ができるようにすることです。また、自分の思考のクセや偏りに気づき、それをコントロールできる力を育むことも大切です。

現在、ChatGPTをはじめとする生成 AI が急速に発展し、人間生活を劇的に変えようとしています。しかし、その生成 AI にはできないことがあります。それは、「物事の本質を見抜く直観力」です。私たちは、子どもたちがこの直観力を身につけ、未来を切り拓いていけるよう、教育の力を信じて取り組んでまいります。

ご不明な点やお気づきのことがありましたら、いつでもご連絡ください。今後とも本校の教育活動へのご理解とご支援を、どうぞよろしくお願いいたします。



学校 SNS のご案内

鵜川高校では、複数の SNS を使って学校に関する様々な情報をお伝えしています。気になる SNS の QR コードを読み取るとアクセスできます。

いまの鵜川高校の姿をぜひご覧ください。

「フォロー」や「いいね」もお待ちしております！



Facebook



Instagram



X



学校ホームページ



私が最初に感じたことは、不安な気持ちと胸が高鳴る気持ち。この二つでした。

新入生一同で迎えた入学式。流れる時間は早く、これからは義務教育ではなく自身で決めた道を進み大人になるのだと自覚しました。高校生活が始まり、中学校とは違う環境になれない中、勉学や部活動を全力で取り組み日々努力をしていきたいです。そして、高校生活で楽しみなことがあります。それは、委員会活動と学校祭などの行事です。私は中学生の頃、学級役員に所属していたので、高校でもクラスメートを引っ張っていけるよう、リーダーシップを発揮していきたいと思い、行事を高校で初めて出会った友人と共に楽しんで参加したいと思ったからです。多くの思い出を作れるよう、楽しく過ごしていきたいです。



令和 6 年度 地域高 2 留学が終了しました！

高校魅力化コーディネーター 阿 部 愛 美

「地域高 2 留学（旧地域みらい留学 365）」は、在籍する高校とは別の地域で高校 2 年生の 1 年間を過ごす、国内単年留学を可能にする仕組みです。内閣府の高校生の地域留学の推進のための高校魅力化事業として、本校では令和 3 年度から留学生を受け入れてきました。3 月末をもって、昨年 4 月に 4 期生として迎えた 2 名の生徒がそれぞれの留学生活を終了いたしました。多くの皆様からのご支援ご協力を賜り、誠にありがとうございました。

入江 徠未 「留学を応援してくれた皆さんへの感謝をこめて」～フルート演奏会の様子～

留学生活を通じて、かけがえない友人を得た入江さん。留学をきっかけに始めたフルートをひたむきに練習する姿が印象的でした。ここで得た人とのつながりを大切にしたいと思います。



島田 賀奈子 「最後まで挑戦を！」～見送りの様子～

鵜川高校での 1 年間を通して「自分」を知った島田さん。悔いのないようにと、積極的に地域の活動に関わりました。そんな彼女の留学生活の締めくくりは、人生初の船旅で…



☆今年度も鵜川高校をどうぞよろしくお願いいたします！